



本日の卓話 2月24日(火)

「和歌山とベトナムの交流」

和歌山ベトナム友好会

幹事 浦 晴雄 さん



次週の卓話 3月3日(火)

「神仏習合の聖地～ 丹生都比売神社と高野山」

丹生都比売神社

宮司 丹生 晃市 さん



先週の例会記録

✳️ロータリーソング

日も風も星も

✳️ビジュア紹介

ゲスト 2025-26年度青少年育成奨励金対象者 鶴本 翠さん

✳️出席報告

(会員数78名、免除会員4名)
本日出席(2/17) 58名 77.33%

✳️メイキャップ

ハワイ・ホノルルへ1名、和北へ4名、
地区へ2名

✳️S. A. A.
(ニコニコ箱)

松尾泰明さん、垣本英作さん、高 誠さん、
田村歆彰さん、坂東信幸さん、中野智一さん、
野志幸生さん、岩西智宏さん、上園芳孝さん、
塚本貞治さん、高川徹也さん、中谷久生さん、
瀬川良浩さん、檜畑直尚さん

本日合計 ¥49,000 今年度累計額 ¥1,712,965

(財団寄付献金箱)

松尾泰明さん、垣本英作さん、高

(米山奨学会献金箱)

誠さん、田村歆彰さん、坂東信幸さん、中野智一さん

(青少年育成奨励金)

松尾泰明さん、垣本英作さん、高
誠さん、田村歆彰さん



誕生日お祝い

会長あいさつ

会長 松尾 泰明



少し暖かくなってきましたでしょうか？ まだまだ油断はできませんが、寒さは底を打ったかもしれません。

ところで、昨年12月頃から鼻がムズムズすると言うか喉もスッキリしないと言うか、花粉症も気になっていたの

で以前検査をしてもらって、花粉症のアレルギーは無いと言われておりましたが、耐えきれずまた耳鼻科を受診しました。どうやら昨年1月にも同じ症状で来院しているとかで、診断結果は逆流性食道炎の疑いがあるということ。前回と同じ症状なので同じ薬出しておきますね！できれば薬を服用しておりましたが、今年は一方向に収まる気配なく、その後1ヶ月ほど苦しい思いをしました。

ネットで調べると、後鼻漏という症状の様で、本来鼻水が前の鼻の穴から出るものが、後ろ側へ周って、喉に落ちる。絶えず痰がからんでいる様ですが、サラサラ過ぎて痰を出すことができない。結構苦しい思いをしましたので、思い切ってセカンドオピニオンを受診してみました。結果は何のことはない、花粉症でした。吸入機でお薬を吸入した後は、1時間後くらいにはスッキリとし、それまでのことを思うと非常に快適になりました。

最も、花粉症の方の辛さがある程度知っているので、遂にデビューしてしまったことに対する落胆感はありましたが、鼻水が前から出る喜びの方が勝って、それ以来キツキツとお薬を飲んで、今は、割と過ごしやすい状況です。皆さんもこれからの季節、十分お気をつけください。

会 長 報 告

檜畑会員にホノルルRCメイクアップ時のお話をいただきました。

- 1915年創立の由緒あるクラブ
- 皆がアロハシャツ
- 鐘ではなくベル



「第4回クラブ協議会」開催！

2026年2月17日(火) 13:45～



幹事報告

- 本日 2025-26年度 第4回クラブ協議会
13:45～ ロイネット4階ブランシェ
- 本日 次年度会長・幹事・SAAを励ます会
18:30～ ロイネット3階サンクシェール
- 2026-2027年度ロータリー手帳のご案内
2/12メール 締切2/20 5月中旬出来上り
- 回覧「あさひ便り2月号」

委員会報告

2025-26年度 青少年育成奨励金 下半年報告 及び 奨励金授与

担当：青少年育成奨励特別委員会
野井和重委員長

うもと みどり
鵜本 翠さん

県立和歌山北高等学校2年 フェンシング



今年生まれの会員卓話

高 誠 会員

私の趣味の1つである登山についてお話します。

去年の2月に大阪の同業の先生と初コンビを組み、連れて行ってもらった「六甲地獄谷ルート」では大変な衝撃を受けました。このルートは下山では使えないルートでクライミングする人もトレーニングしており、「ここで練習を積んでいけば主な北アルプスの山々はほとんど行けます」との事。相棒からは両手足のかける位置も指示され、場所によってはかなりビビリながらの登山となりました。下山後はいつも脚だけ筋肉痛はありますが、この時は両腕の筋肉痛で暫く腕が上がりませんでした。

私にとってはかなりの衝撃でもあり、直ぐにクライミングに適した靴を買い、一カ月半後に同じ場所の登山に付き

合ってもらいました。その時はオールリードで後ろからの指示も仰ぎながらなんとかリベンジを果たしました。

最近では体力のなさを痛感しておりますが、今年もまたしっかりトレーニングをして、いつもの仲間と3,000m級に挑戦していきたいと思っております。



上 園 芳 孝 会員

今回の卓話は「干支・十二支・年男・午」等を少しでも理解する機会になりました。ただし年男が二人だけとはびっくりです。

丙午は、十干、十二支の組み合わせで60年周期で巡ってきた干支で情熱や飛躍、変化を象徴し物事を大きく広げるエネルギーに満ちた年とされています。今年はずでに日本や世界で様々な変化（政治、経済、異常気象）が起きて、期待と不安が入り混じっています。

七回目の年男を多くの人に支えられて迎えられた事に感謝します。

次年度会長・幹事・SAAを励ます会 開催!!

2026年2月17日(火) 18:30～

